

2010年2月4日

各位

オリックス株式会社
(コード番号:8591)

2010年3月期 第3四半期連結決算(4~12月)
~当期純利益は274億円(前年同期比2.1倍)~
通期予想を20%上方修正

2010年3月期第3四半期(2009年4月1日~2009年12月31日)の米国会計基準連結決算における当期純利益は前年同期比2.1倍の274億円となりました。海外セグメントの業績が好調であることを主因として、通期の純利益は期初見通しの300億円を20%程度上回り、360億円前後となる見込みです。

世界的な経済の減速と信用収縮に対応するため、これまで、財務の安定性と資産の健全性を確保しつつ収益の向上を図り、企業体質の強化と事業の再構築を行ってまいりました。その結果、DEレシオ・資産圧縮は通期目標を達成し、体質強化も加速度的に進展しています。

業績総括

	2008.4-12	2009.4-12	前期比
営業収益	7,842 億円	6,920 億円	88%
税引前当期純利益	143 億円	377 億円	264%
当期純利益 (1)	133 億円	274 億円	206%

	2009.3	2009.12	増減率
総資産	83,697 億円	79,584 億円	5%
株主資本	11,675 億円	12,766 億円	9%
株主資本比率	13.9%	16.0%	-

(1) 「当期純利益」は、決算短信などの財務諸表に記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」と同じ。

第3四半期決算のポイント

	主要項目	期初見通し	2009.4-12	進捗率
1	当期純利益 (1)	300 億円	274 億円	上方修正
2	DE レシオ (2)	4 倍以下	3.7 倍	達成
3	資産の圧縮 (3)	4,327 億円	6,174 億円	達成
4	不動産関連資産の圧縮	2,912 億円	2,349 億円	81%
5	クレジットコスト	780 億円	488 億円	-

(2) オリックス信託銀行の預金を除く。

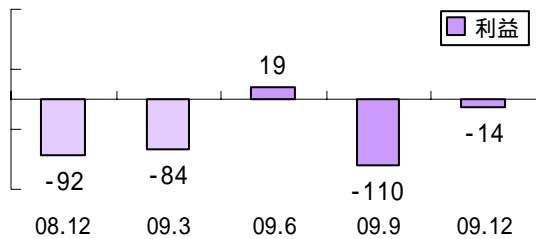
(3) セグメント資産合計。

各セグメントの業績概要

「法人金融サービス事業部門」と「投資銀行事業部門」の赤字幅は第2四半期から減少する一方、「海外事業部門」は通期計画を大幅に上回る利益水準を維持するなど、業績は回復基調です（詳細については、2010年3月期第3四半期決算短信P4～P6およびP14をご覧ください。）

【法人金融サービス事業部門】

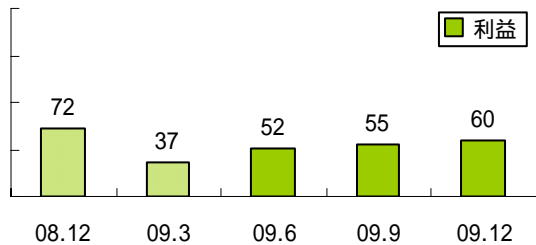
融資、リース、金融商品販売などの手数料ビジネス、環境関連ビジネス
(単位：億円)



- ・ 案件選別と回収強化を前倒して実行したことにより、ファイナンス・リース投資残高、営業貸付金残高およびセグメント収益が減少しました。
- ・ 不良債権の新規発生は前第3四半期をピークに以降大幅に減少しています。
- ・ セグメント利益は106億円の損失となるものの、四半期毎で見ると、赤字幅は第2四半期に比べ減少しています。

【メンテナンスリース事業部門】

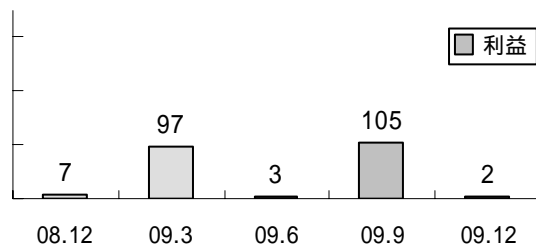
自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース
(単位：億円)



- ・ 業界 NO.1 シェアと高付加価値サービスの提供により、セグメント収益・利益ともに安定的に推移しています。
- ・ セグメント利益は167億円となり、期初見通し対比67%の進捗となりました。

【不動産事業部門】

オフィスビル・商業施設などの開発・賃貸、マンション分譲、ホテル・ゴルフ場・研修所などの運営、高齢者向け住宅の開発・運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問
(単位：億円)

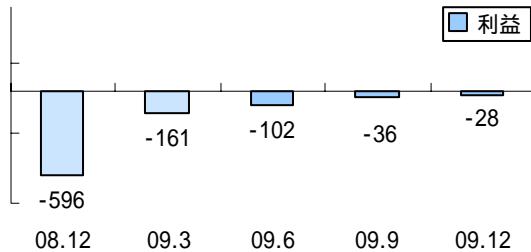


- ・ 不動産市況の低迷が続いており、賃貸不動産売却益が減少しました。
- ・ セグメント利益は109億円となり、期初見通し対比55%の進捗となりました。

【投資銀行事業部門】

不動産ファイナンス、商業用不動産担保ローンの証券化、サービス（債権回収）、プリンシパル・インベストメント、M&Aアドバイザー、ベンチャーキャピタル

(単位：億円)

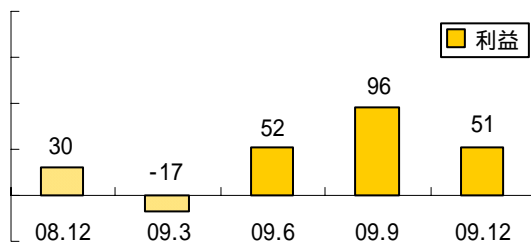


- ・ ノンリコースローン(NRL)の回収強化に伴い営業貸付金と投資有価証券残高が減少した結果、セグメント収益は減少しました。
- ・ NRL を中心とした貸倒引当金繰入額は当初の見込みを下回る水準で推移しています。
- ・ セグメント利益はジョイント・コーポレーション関連の損失もあり、165 億円の損失となるものの、四半期毎の赤字幅は継続的に改善しています。

【リテール事業部門】

信託銀行、生命保険、証券、カードローン

(単位：億円)

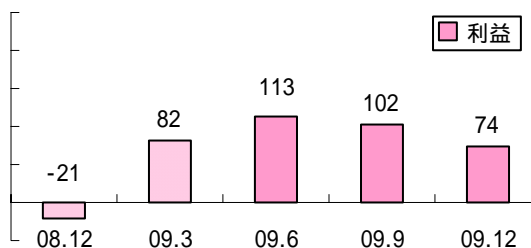


- ・ 信託銀行業の貸倒引当金繰入額は低水準に留まり、預金も順調に拡大しています。
- ・ 生命保険事業は保険・運用損益ともに好調に推移しています。
- ・ セグメント利益は安定的な推移により 199 億円となり、期初見通しをほぼ達成しています。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、不動産関連、船舶・航空機関連

(単位：億円)



- ・ 米州は、株式・債券市場が改善する中、有価証券の売却益が貢献しました。
- ・ アジアは、プリンシパル・インベストメント事業からの利益が貢献しました。
- ・ セグメント利益は 289 億円となり、期初見通し 150 億円を大きく上回る水準で業績を牽引しています。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : http://www.orix.co.jp/grp/ir_j/data/

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

広報部 池田・横井 / 経営計画室 IR 担当 富永・竹村

TEL : 03-5419-5102